



「健幸さど 21」第2次 計画

第2次 佐渡市歯科保健計画

第2次 佐渡市食育推進計画

を紹介 します

第2次計画改訂にあたり、3計画共通の視点で一体的に健康づくりを推進します。

3つの計画とも世代別に健康づくりを策定しました。

今回は『**育ち盛り世代（おおむね0～18歳）の計画**』について紹介します。

育ち盛り世代は、規則正しい生活習慣を身につけ、また、親（家族）からの愛情を受け、こころの安心感を築くことが大切な時期です。

世代別区分	○育ち盛り世代 (おおむね0～18歳)
	○働き盛り世代 (おおむね19～64歳)
	○活躍盛り世代 (65歳以上)

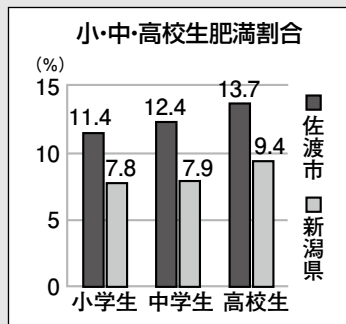
【現状】

佐渡市の出生数は平成16年では400人を超えていましたが、平成26年では350人を下回り、より一層少子化が進んでいます。

子は宝と言われますが、『佐渡市の宝』子どもの健康状態はどうなっているのでしょうか？

○小中高校生の肥満割合

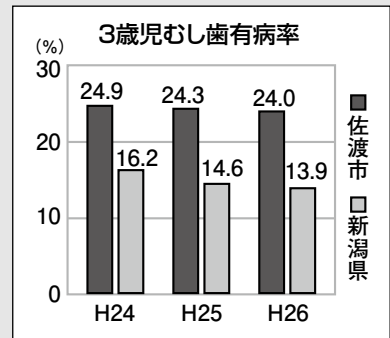
佐渡市の子どもの肥満割合は、県内平均の約1.5倍となっています。



【平成26年度 学校保健統計調査】

○むし歯有病率

佐渡市の子どものむし歯有病率は、3歳児で県平均の約1.7倍、永久歯に生え替わる12歳児でも県平均の1.3倍となっています。



【小児の歯科疾患の現状と歯科保健対策および乳幼児等歯科健康診査実施状況（新潟県）】

この原因としては、幼少期からのDVDやゲームなどの遊びの増加、偏食や欠食など食生活の乱れ、早寝早起きができないといった生活習慣の乱れが大きいと考えています。さらに、年齢があがるにつれて毎日の朝食摂取の割合が減ってきており、中学生で85.3%（平成26年度生活習慣アンケート）となっています。

【重点取組】

次の3点を重点に保育園・学校・医療機関などと連携し、働きかけます。

- ・親と子で生活習慣を見直し、適切な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはんと食後の歯みがき）を身につける。
- ・毎日の生活の中で、子どもとのスキンシップを図り、親子の信頼関係を築くことで、子どもの健やかなこころを育む。
- ・子どもの発達段階をわかりやすく伝え、理解することで、楽しみながら安心して子育てをする。



目指す姿

- 親子のこころのつながりをしっかり形成することで、自分を大切にできる子になる
- 親子で育ちあいながら、生活習慣を身につける
- 家族や地域で協力して育児ができる

次号は、『働き盛り世代（おおむね19～64歳）の計画』について、紹介します。

お問い合わせ 市役所市民生活課健康推進室 健康増進係 ☎63-3115